

第19回「私とみんてつ」小学生新聞コンクール 表彰作品、学校が決定し、表彰式を実施!!

日本民営鉄道協会では、2025年7月1日～9月30日まで、新聞形式の記事やニュース記事、絵日記作成などを通じて、子どもたちに鉄道に関する関心と理解を深めてもらうことを目的に、第19回「私とみんてつ」小学校新聞コンクールを実施しました。(後援：文部科学省、国土交通省、全国小学校社会科研究協議会)

今回は、3,099点(応募児童数3,134名)の作品の中から厳正な審査を経て、東京都台東区立根岸小学校5年生の浅羽茉莉さんの作品「知って!!乗って!!岳南電車イトコしんぶん」が個人部門の最優秀作品賞(文部科学大臣賞)に、奈良県奈良市立六条小学校が学校部門の最優秀学校賞(国土交通大臣賞)に選ばれました。

2026年1月10日(土)に大手町プレイスホール&カンファレンスにて表彰式が行われました。

浅羽さんの
コメント

受賞できて本当に嬉しいです! 毎年の新聞作りが鉄道を大好きになるきっかけになりました。普段何気なく乗っている電車にも面白い秘密があるのを皆にも知ってもらいたいです。新聞作りは大変ですが、興味を持って調べることでたくさんの方に気付けるので楽しいです。

協力して下さった方々、本当にありがとうございました。

個人部門受賞者・受賞作品、および学校部門受賞校はこちらからご覧いただけます。

https://www.mintetsu.or.jp/newspaper_contest/result/2025/

【コンクール概要】

1. 名称
第19回「私とみんてつ」小学生新聞コンクール
2. 主催
一般社団法人日本民営鉄道協会
3. 後援
文部科学省 国土交通省
全国小学校社会科研究協議会
4. 協賛
公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
TOPPAN クロレ株式会社
5. 募集期間
2025年7月1日(火)～9月30日(火)
6. 募集対象
全国の小学生(全学年)
7. 応募結果
応募作品数: 3,099 作品 (応募児童数: 3,134 名)



表彰式の様子



浅羽茉莉さんの表彰



奈良市立六条小学校の表彰



最優秀作品賞(文部科学大臣賞)
「知って!!乗って!!岳南電車イトコしんぶん」
東京都台東区立根岸小学校5年生
浅羽茉莉さんの作品

内外情勢調査会@青森に参加!!

～「地域鉄道を活かした地域活性化の課題と方向について」～

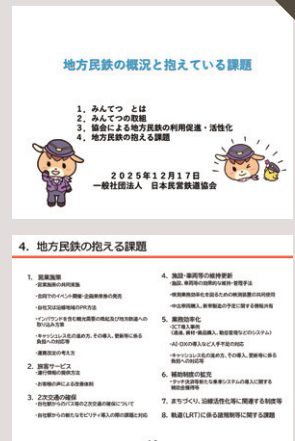
2025年12月17日、青森において、内外情勢調査会が開催されました。

当協会からは羽尾一郎理事長が「地方民鉄の概況と抱えている課題」をテーマに基調講演を行いました。

講演内容は、みんてつの取り組みから始まり、協会の取り組む地方活性化の取り組みの紹介、地方民鉄の抱える課題など多岐に渡りました。講演を通じて、地方民鉄の課題を浮き彫りにし、今後の地方鉄道のあり方について問題提起を行いました。



講演する羽尾理事長



「地方民鉄フォトコンテスト2025」を開催しました!

■大賞



林 亮一 # 岳南電車

日本民営鉄道協会では2025年7月19日(土)～11月30日(日)まで協会に加盟する地方民鉄各社の利用促進・活性化を目的に、「地方民鉄フォトコンテスト2025」を開催しました。

今年度は、当協会が台湾鉄道観光協会との間に締結した「鉄道観光プロモーション協定」に基づく取り組みの一環として、台湾の鉄道事業者9社を題材とした写真を対象に「台湾賞」を設けました。3,915件のご応募をいただきましたが、厳正なる審査の結果、以下の通り受賞作品が決定しました(敬称略)。(大賞など、一部の受賞作品のみ掲載。詳細は、フォトコンテスト公式ホームページ (<https://mintetsuphoto.jp>) にて。



■プロカメラマン賞
植原 誠 # 津軽鉄道

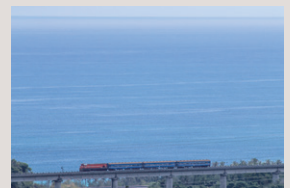


■鉄道タレント賞
荒木 慎一 # 小湊鐵道

■台湾賞



日野 里奈



船越 知弘



吉川 信男



温 仁助



南 輝明

インバウンド向け鉄道利用マナー啓発動画 航空機や空港で展開開始

日本民営鉄道協会では、2026年1月以降、インバウンドの持続可能な発展に向けた訪日外国人受け入れ環境整備の一助として、日本の鉄道利用マナーについての啓発動画を全日本空輸運航便(国内線は放映対象モニター設置機材のみ)と、各種空港施設等において放映しました。

当協会は、日本の鉄道利用マナーについて周知を図ることで、国内外の方々が気持ちよくご利用いただくとともに、今後の益々の訪日外国人リピーターの確保につながるよう、また、日本人利用者にとっても気持ちよく受け入れられるような環境整備につながるよう、インバウンド向け鉄道利用マナー啓発動画を作成しており、今後も啓発活動を継続してまいります。



啓発動画の1シーン